

北八ヶ岳

M4 荒川 晶

【参加メンバー】

M2 荒川・中西

【コースタイム】

2/16(Sat)

茅野駅 10:25→北八ヶ岳ロープウェイ 11:20

山頂駅 12:40→坪庭散策→14:00 北横岳ヒュッテ 14:50→15:15 北横岳山頂 15:40→16:10 北横岳ヒュッテ

2/17(Sun)

北横岳ヒュッテ 06:25→06:40 山頂 06:50→07:05 ヒュッテ

北横岳ヒュッテ 08:25→坪庭→09:20 縞枯山荘 09:25→10:05 縞枯山山頂 10:30→11:00 縞枯山荘
11:10→11:50 ロープウェイ山頂駅

【概要】

前々から一度雪山らしい雪山を歩いてみたいと思っていたので、取りあえず手頃そうな北八ヶ岳に登ることにした。メンバーを募ってみたところ、同学年の中西が参戦してくれた。後輩たちも来てもらえると嬉しいなと思っていたが、思いのほか集まりが芳しくなく 2 人だけだった。それでも天候も比較的安定し、スノートレッキング風ではあるが雪山の雰囲気を楽しめたと思う。

【本文】

<1 日目>

今回は都内から特急あずさ&路線バスのセットでピラタスロープウェイまで移動。この一帯はスキー場になっているらしく都内ではさほど有名ではないものの、長野ナンバーの車で大いに賑わっていた。徐に支度をしてスキー客に交じりロープウェイで山頂駅へ。今日の行程は北横岳ヒュッテまで移動し、時間があり天気が良ければ北横岳を往復すると云うシンプルなもの。

今回は主にトレッキング目的だが、行程中の北横岳、縞枯山にはそこそこ斜度のある登りがありスノーシューではちょっぴり不安だったので、アイゼンとワカンを持参した。山頂駅でアイゼンを装着して少しばかり歩くと、中西の様子が少し変。どうやら、アイゼンのパーツが痛み外れてしまったらしい。幸いにもワカンがあったので大事には至らなかったが、久しく使っていない道具が破損するのはある程度想像できるわけで、準備不足を反省した。

坪庭付近の風紋を楽しみながら歩く。周囲は縞枯山・北横岳が大きく広がり、夏とは違った雄大な景観を楽しむと同時に、この標高まで気軽にロープウェイで来れる気楽さに感謝する。時折日帰り登山風の人とすれ違う。今回は時間に余裕を持つため 1 泊 2 日の行程にしたが、早起きすれば日帰りも十分に可能だろう。

坪庭を過ぎて樹林帯に入る。この辺りから少し勾配が出てきて、アイゼン&ワカンが力を発揮する。い

20〇〇年〇月〇日～〇月〇日

よいよ本格的な登りに入るなと思って覚悟を決めてゆくのだが、身構えるまでもなく、出発してから 1 時間少々であっけなく北横岳ヒュッテに着いてしまった。初めての雪山なのでこれ位がちょうどよい。この小屋は定員が少ないこともあり予約制、しかもキャンセル料まで設定するというやや珍しい小屋。幸いにも予約も取れたし、天候も山を歩くのに悪くはないものだったので胸をなでおろした次第。

手続きを済ませて割り当てられた区画へ。天候は比較のおだやか、とはいえ、外気温は氷点下 10 度ほど。着こんでいればさほど寒いと感じないし、歩いた後ではむしろ暑い位に感じることもすらある。一方で室内は 15℃ほど。かなり暖かい。一服したところで、北横岳の山頂を目指しておもむろに歩く。山頂付近までは殆ど展望がないが、手前で森林限界を抜けて、一気に展望が広がるスポットがある。実は夏場を含めて八ヶ岳界隈は初めて。北アルプス・中央アルプスが一望できるその立地の良さに感嘆した。しばし周囲の山々を眺めて写真撮影。他にも宿泊者の方々が登り降りしている。そのうち寒さを感じるようになったので、来た道を下山。小屋付近にあった七つ池というスポットも見てみることにしたが、結氷している上に雪が積もってただの雪原のようにしか見えなかったため、早々に撤退。

小屋で体を暖めつつ夕食。夜はどう過ごそうかと思ったが、折角の機会でもあるし夜景を眺めに山頂を往復している人を何名か見掛けたので、あとを辿るようにして往復。夜はすっきりと晴れ、茅野・岡谷など諏訪地域の街並みを一望出来て中々気分が良い。ただこの光が光害となり、星の数はさほど多くなかったように思う。何枚か写真を撮影して再び小屋へ。そして就寝。



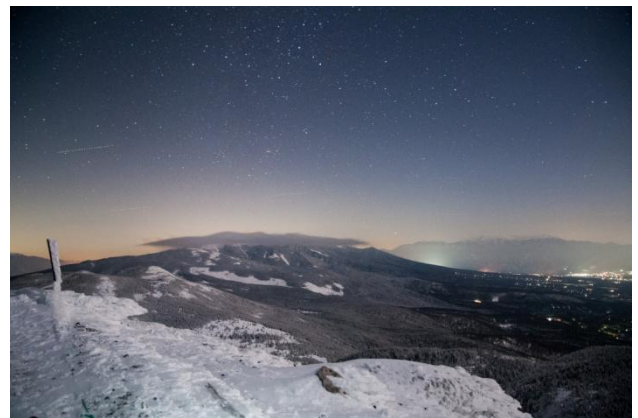
坪庭を歩く人々。トレースがしっかりと着いており、道に迷う心配もなく歩くことができた。



今晚の宿、北横岳ヒュッテ。こじんまりとした宿だが中は暖かく居心地が良い。



北横岳山頂にて M2 中西。標高は 2480m だが、ロープウェイのお陰もあり十分日帰り圏内。



夜の山頂から。南八ヶ岳と中央アルプスの山並み。街灯りと月明かりで思いのほか明るい写真に。

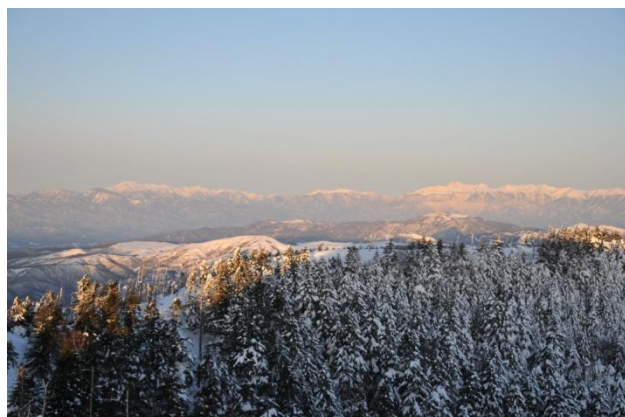
<2日目>

翌朝は朝日を受ける中央アルプス、北アルプスを眺めようと日出寄り若干早めに出発し、山頂を目指す。昨晚と同じく空はすっきりと晴れ、展望も良い。朝日に照らされる山並みをしばし鑑賞した後、再び小屋へ。結局この1泊の間に小屋と山頂を3往復もした計算になる。随分のんびりしたものだが、これも余裕を持ったプランだからこそ。たまにはこういう山行も良いかもしれない。

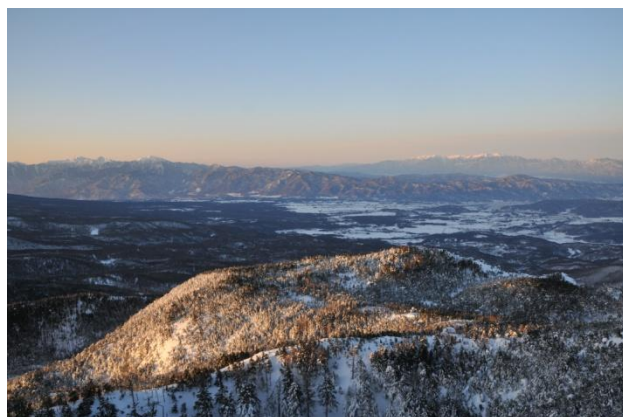
小屋に戻り朝食を済ませ、荷物を纏めて08:00過ぎに出発。若い人は珍しいからか小屋のおばさんが結構気遣ってくれたのに感謝。昨日歩いた道を引き返し、坪庭から八丁平を抜けて縞枯山荘。ここは三角の屋根が目立つ小屋。雨池峠からややきつい斜面を登り、30分ほどで縞枯山。名前の通り、松の立ち枯れが広がっており、その隙間から南八ヶ岳を遠望できる。夏場などは多くの人で混雑するのだろうけど、この時期は人気もまばらで居心地が良い。

しばらく道なりに歩いてみたが、山頂らしき看板が見つからなかったので適当な地点で引き返す。急斜面を時折滑りそうになりながら下り、縞枯山荘前で休憩。ここから、30分ほど歩くとロープウェイ山頂駅に。やや早い時間だが、雪山の雰囲気十分に満足できたので、そのままロープウェイを下り、バスに乗りついで帰路に着いた。

今回の山行は雪山が初めてでもありやや不安もあったが、その雰囲気を十二分に満喫することが出来た。また雪山に興味のある人があれば、是非挑戦して貰いたいものだ。



朝の北横岳から周囲360度の山々を望む。西方面の北アルプスと乗鞍岳が美しい。



南東寄りの南アルプスと、右側には中央アルプスも遠望できる。



縞枯山山頂にて。立ち枯れた松の姿が美しい。所々に展望スポットが広がる。



三角屋根が特徴的な縞枯山荘。